

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2006-523745(P2006-523745A)

【公表日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2006-505143(P2006-505143)

【国際特許分類】

C 08 F 10/06 (2006.01)

C 08 F 4/02 (2006.01)

C 08 F 4/6592 (2006.01)

【F I】

C 08 F 10/06

C 08 F 4/02

C 08 F 4/6592

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月21日(2007.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくともメタロセン化合物を含む触媒系の存在下、重合条件下で、プロピレンと、任意に1以上の-オレフィンを重合させる工程を備え、

a)触媒系が、有機多孔質ポリマーに担持され、b)重合反応の少なくとも一部が水素の存在下で実行されることを特徴とする、

式 $C H_2 = C H Z$  (式中、Zは、H又は $C_2 - C_{10}$ アルキル基である。)の1以上の-オレフィンの誘導単位を10モル%まで任意に含む多孔質プロピレンポリマーを得る方法。

【請求項2】

次の工程:

a)有機多孔質ポリマーに担持された触媒系の存在下で、プロピレンと、任意に式 $C H_2 = C H Z$  (式中、Zは、H又は $C_2 - C_{10}$ アルキル基である。)の1以上の-オレフィンを予備重合させ、前記触媒は、メタロセン化合物を含み、重合媒体は、液体プロピレンであり、

b)水素及び工程a)で得られる予備重合された触媒系の存在下、重合条件下で、プロピレンと、任意に式 $C H_2 = C H Z$  (式中、Zは、H又は $C_2 - C_{10}$ アルキル基である。)の1以上の-オレフィンを接触させる、

を備える、式 $C H_2 = C H Z$  (式中、Zは、H又は $C_2 - C_{10}$ アルキル基である。)の1以上の-オレフィンの誘導単位を10モル%まで任意に含む多孔質プロピレンポリマーを得る方法。

【請求項3】

式 $C H_2 = C H Z$  (式中、Zは、H又は $C_2 - C_{10}$ アルキル基である。)の1以上の-オレフィンの誘導単位を10モル%まで任意に含み、次の特徴:

-融点>100;

-空隙の百分率で表現された全多孔度、%V/V<sub>1</sub>>15;及び

- 分子量分布  $M_w / M_n < 4$   
を有するプロピレンポリマー。